

京都 11 発走 15:45

第66回 日経新春杯 (II) (4歳以上・オープン)(國産・ハンデ)

Main table containing race details, horse names, jockeys, and performance data for various races.

馬券情報 (馬券の表記, 馬場状態, 脚質別連対数, etc.) and 芝重巧拙・勝利回数 (芝重巧拙・勝利回数) section.





京都 11R	3連複	上位人気	
21016	16.1	21610	48.5
21216	16.5	21612	51.0
21616	16.6	21615	55.0
21416	20.3	16210	64.0
21510	27.9	16215	65.0
51016	29.9	16214	65.1
21512	32.0	21216	70.5
21412	32.7	16212	72.2
21415	33.5	21016	77.4
21012	34.2	16512	84.2
21410	40.4	16214	85.6
21816	40.5	21516	85.8
51216	43.5	16012	89.3
101216	47.8	121616	90.9
41216	49.8	21416	95.7
41016	51.7	21618	102.3
41516	52.5	16212	102.8
21616	61.3	121612	109.5
21116	62.3	21510	110.6
21812	68.6	10216	112.3
41510	71.4	21412	112.8
21810	71.6	16510	114.7
21518	76.2	21214	119.6
21516	82.2	21415	121.2
51012	84.1	161015	122.1

### 競馬人情 吉川良

第66回日経新春杯。3カ月ぶりの出走で菊花賞5着のグロリーヴェイズの能力はハンパない。勝つよ。ムイトオブリガードへの馬単1点。

そう決めて冬の青空を見上げていたら、「文・吉川良写真・今井寿恵」の本、「テンポイント」を久しぶりに手にしたくなった。

「1977(昭和52)の年度代表馬に101票で選ばれたテンポイントは、66・5キロのハンデを背負い、ピンク地に黄色い水玉、白袖の勝負服を着た鹿戸明を乗せ、雪がちつと京都競馬場に現われた。」

と読む私の脳裏に、テレビ画面の、雪が風で舞う京都競馬場が写った。

「1978(昭和53)年1月22日である。日経新春杯2400メートルは、海外遠征へ旅立つ前に声援してくれた関西のファンへの、いわばお礼のレースといった意味合いがこめられていた。66・5キロのハンデに、小川調教師も出否を迷ったのだが、テンポイントはファンのための馬だという思いと、テンポイントなら克服するだろうと考えての出走だった。」

その決定にこたえて、底冷えに肩を縮めながら、5万をこえる人が競馬場へ足をはこんだ。そだったのに、快調にとほしていたテンポイントが4コーナーにさしかかかって故障発生。左第三中足骨開放骨折、第一指骨骨折。3月5日、午前8時40分、死。



大川浩史

### 夏の1600万勝ち馬は価値大

8月までに芝千馬以上の1600万下を勝った3歳馬は、1989・2018年の30年間で7頭しかない。昨年のクローリーヴェイズ(京都11R)を除く6頭はすべて、その後、重賞勝ちまたはG1②着。

大雑把に言くと夏・初秋の3歳限定重賞は1600万下と同じくらいのレベルなので、順調に成長すれば秋以降には重賞で通用する。

このような素敵な法則も、降級制度がなくなる今年からは崩れる恐れがある。グロリーヴェイズが「最後の例」になる可能性もある。しっかり馬券にしたい。

京都外回りではきざきざ賞②着、京都新聞杯0秒4差④着とすでに重賞好走歴もある。懸念材料は今の京都芝が得意いこと。バクト産駒向きではないことだが、母は札幌・函館計(2023)という洋芝巧者だった。こなせる方に賭ける。

### 馬単オッズ上位人気

214	18.5
215	19.0
216	53.0
218	33.2
210	20.7
212	16.1
216	11.9
412	35.1
416	58.2
512	31.6
510	54.0
516	40.1
1012	27.2
1015	53.3
1016	41.6
1212	19.7
1214	44.4
1215	58.2
1216	27.2
1612	17.3
1614	41.8
1618	30.3
1610	32.1
1612	33.5

### 小本 大祐

BSイレブン解説者

ルックトゥウイスの前走は後半1400mのラップが12秒4より落ちないハイレベルな消耗戦。瞬発力勝負のイメージが強かった馬ですが、父の影響を強く受け継ぎ、スタミナ勝負で今までの強さを見せました。例年より時計がかかる京都、体力勝負で素質開花。

### 柏木 集保

日刊競馬解説者

菊花賞⑤着の4歳グロリーヴェイズの魅力も大きい。バウの求められる今季の京都の芝を考えると、◎は5歳ムイトオブリガード。4歳の昨年7戦4勝。父ルーラシップは本物になった5歳時はG1を中心に「2140」だった。穴はウインテンダネス。

### ☆関西所属ジョッキー特別リ

順位	手名	所属	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着
1	藤田	藤田	72	55	37	33	29	25	23	21	21	20
2	川村	武藤	39	44	49	24	27	19	20	26	22	16
3	山岡	友山	115	115	144	158	144	156	161	192	170	161
4	藤原	北松	31	38	30	22	29	25	28	23	16	17
5	藤原	北松	127	115	144	158	144	156	161	192	170	161
6	藤原	北松	393	372	256	230	207	189	203	165	161	161
7	藤原	北松	393	372	256	230	207	189	203	165	161	161
8	藤原	北松	393	372	256	230	207	189	203	165	161	161
9	藤原	北松	393	372	256	230	207	189	203	165	161	161
10	藤原	北松	393	372	256	230	207	189	203	165	161	161

### おうちの馬

中西 徹

馬連

5ながし

234101216

☆各1000円

合計★6000円

### 好球必打

久保木 正則

京都11R ルックトゥウイス

伝統のGIIだが、ハンデ戦という点もあり、斤量の軽い昇級馬や格上挑戦馬が活躍する傾向にある。

ルックトゥウイスはベイスや位置取りを問わず全戦で上が馬で、デビューから全戦で上がり3位以内をマークし、掲示板を外したのが過去に2度だけ。そのひとつがアルゼンチン共和の杯の⑧着だが、これは出遅れとSベイスの二重苦で参考外。

逆に、上位と差のない32秒7の脚が使えたこと、重賞でも通用の優馬バフォーミングと昨年は厩舎、種牡馬、そしてローテーションも同じだ。

### 京都11R ルックトゥウイス

出走馬

1	ルックトゥウイス	52	キロ以下	00213
2	ハッピー	52	キロ以下	00213
3	ハッピー	52	キロ以下	00213
4	ハッピー	52	キロ以下	00213
5	ハッピー	52	キロ以下	00213
6	ハッピー	52	キロ以下	00213
7	ハッピー	52	キロ以下	00213
8	ハッピー	52	キロ以下	00213
9	ハッピー	52	キロ以下	00213
10	ハッピー	52	キロ以下	00213

### 京都リーディングジョッキー

(2018年11月25日終了現在)

順位	手名	所属	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着
1	藤田	藤田	37	12	38	24	76	429	928			
2	山岡	友山	32	6	30	28	177	232	1533			
3	山岡	友山	32	9	29	24	214	204	546			
4	藤原	北松	32	10	21	20	130	261	735			
5	藤原	北松	31	10	27	27	123	279	1228			
6	藤原	北松	27	7	29	8	59	455	957			
7	藤原	北松	27	12	22	24	167	204	960			
8	藤原	北松	25	8	21	23	96	279	2153			
9	藤原	北松	23	5	19	24	270	125	1341			
10	藤原	北松	20	8	15	26	93	227	4018			
11	藤原	北松	14	4	20	9	200	140	254			
12	藤原	北松	14	3	19	9	129	193	465			
13	藤原	北松	11	2	17	18	168	131	1212			
14	藤原	北松	10	4	20	19	125	172	1114			
15	藤原	北松	10	2	13	11	92	183	648			
16	藤原	北松	10	2	13	11	92	183	648			
17	藤原	北松	10	2	13	11	92	183	648			
18	藤原	北松	10	2	13	11	92	183	648			
19	藤原	北松	10	2	13	11	92	183	648			
20	藤原	北松	10	2	13	11	92	183	648			
21	藤原	北松	6	1	4	4	71	118	121			
22	藤原	北松	6	0	3	9	124	063	97			
23	藤原	北松	6	0	3	5	103	077	94			
24	藤原	北松	6	0	2	2	31	195	941			
25	藤原	北松	6	0	2	2	65	107	102			
26	藤原	北松	6	0	1	3	127	051	213			
27	藤原	北松	5	1	13	127	067	540	540			
28	藤原	北松	5	0	3	3	125	059	46			
29	藤原	北松	4	1	10	8	88	109	961			
30	藤原	北松	4	1	6	6	60	132	280			
31	藤原	北松	4	1	4	7	129	056	177			
32	藤原	北松	4	1	2	3	17	231	71			
33	藤原	北松	3	0	12	7	141	092	884			
34	藤原	北松	3	0	5	49	100	440	340			
35	藤原	北松	3	1	3	1	33	150	34			
36	藤原	北松	3	0	1	5	45	074	53			
37	藤原	北松	3	0	2	2	20	120	163			
38	藤原	北松	2	1	3	8	86	063	283			

### 日経新春杯 過去5回の成績

年	1着	2着	3着	4着	5着	6着	7着	8着	9着	10着
14	サトノノブ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ
15	サトノノブ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ
16	サトノノブ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ
17	サトノノブ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ
18	サトノノブ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ
19	サトノノブ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ	アドマイヤフレイ

表右端の金額は、上から単勝・馬単・馬単の払戻し金額です。

◎成績欄に前半3F時計

成績欄の通過順の右横に「各馬の前半3ハロン通過時計を表記しております。各馬のダッシュ力の比較検討に役立てていただければ幸いです。なお、レースの流れは、馬体重の横に「H」「L」「M」平均「S」「L」のそれぞれをマル囲み表記で示してあります。

また、千メートルのレースについては、前半3ハロンの時計を表記してあります。また、障害戦や一部の公営競馬については、計測できませんので省略してあります。

◎日経新春杯優勝馬の前走成績

09年 テイエムブリキア 愛知杯⑧  
10年 メイショウベルガ 有馬記③  
11年 ルーラシップ 有馬記③  
12年 カボチグロリー 有馬記③  
13年 サトノノブ 有馬記③  
14年 アドマイヤデウス 有馬記③  
15年 レーヴミストラル 有馬記③  
16年 ミッキーロケット 有馬記③  
17年 シャケトラ 有馬記③  
18年 モンドインデロ 有馬記③  
19年 バフォーミング 有馬記③

◎平成30年度関係者表彰

【騎手部門】  
1 優秀騎手賞: 「勝率」「勝利回数」の獲得総合点  
2 第1位: C・ルメール  
3 第2位: M・デムーロ  
4 第3位: 戸崎圭太  
5 第4位: 川田将雅  
6 第5位: 福永祐一

【調教師部門】  
1 優秀調教師賞: 「勝率」「勝利回数」の獲得総合点  
2 第1位: 五十嵐雄祐  
3 第2位: 平沢健治  
4 第3位: 藤田道生  
5 第4位: 吉田照英  
6 第5位: 藤田泰義

【厩舎部門】  
1 優秀厩舎賞: 「勝率」「勝利回数」の獲得総合点  
2 第1位: 「1馬房あたりの出走回数」の4部門における総合得点  
3 第2位: 木村哲也  
4 第3位: 藤原和雄  
5 第4位: 堀宣行  
6 第5位: 萩原清  
7 第6位: 藤原英昭  
8 第7位: 中内芳人  
9 第8位: 矢野正人  
10 第9位: 友道康夫  
11 第10位: 池江泰寿

【新人騎手育成賞】: 該当者なし